

ダンゴムシ

生態

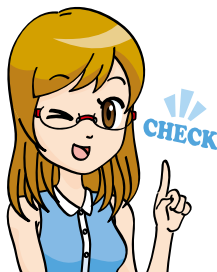
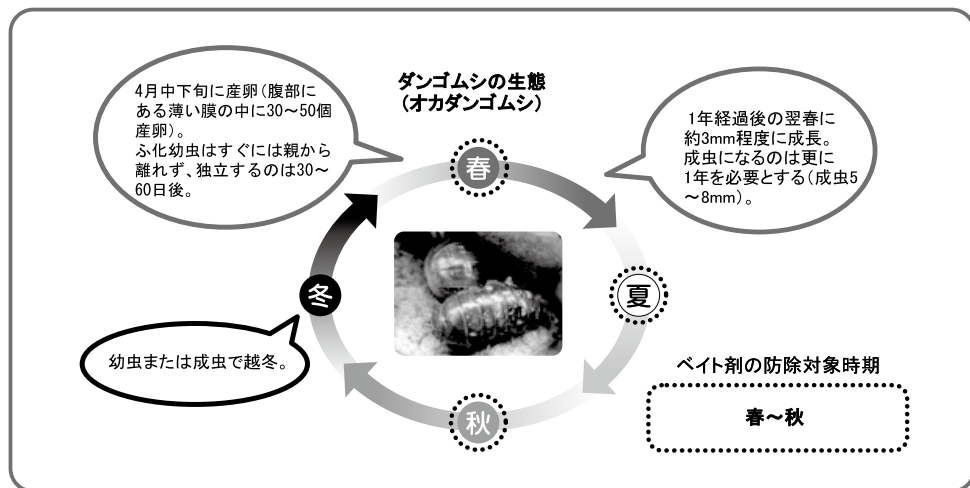
- 東北地方から南（特に太平洋側の沿岸部）に分布する侵入害虫の一種で、昭和の初期から被害に気がはじめたと言われています。年間を通じて活動しますが、高温時、乾燥時には活動が緩慢になります。常に湿気のあるところを好み、日中は物陰に隠れ、夜間に活動します。

被害

- 多くの作物を加害しますが、被害が大きいのは野菜・花の幼苗で、地際部から食害されます。生長した作物では、被害は問題になりませんが、は種後の幼植物への加害は大きな被害につながります。育苗に堆肥やきゅう肥を使用すると、ダンゴムシを誘引するので注意してください。

防除時期と薬剤

- は種前、は種時又は定植時～生育初期にデナボン5%ベイトを処理します。
- 使用する作物や使用量・方法については、薬剤の登録内容を遵守してお使いください。



ダンゴムシには
「デナボン5%ベイト」!!